

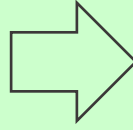
農業用水の安定供給による経営転換と高収益作物の導入

経営体の概要

事業実施前

基幹作物：オクラ、さやいんげん、
ゴーヤー

経営面積：1.5ha



事業実施後

基幹作物：レッドジンジャー、
ヘリコニア

経営面積：0.45ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、昭和49年に就農し、就農当時は野菜経営に取り組んでいたが、より収益性の高い花き経営に転換し、現在はレッドジンジャーとヘリコニアの栽培に取り組んでいる。補助事業により平張ハウスを導入し、天井からのミスト散水によるかん水作業時間の節減や品質向上に取り組んでおり、県の花と食のフェスティバルでは高い評価を得ている。

営農改善のポイント

①作物の変化

就農当初は、野菜(オクラ、さやいんげん、ゴーヤー)の栽培を行っていたが、より単価の高い花き経営に転換している。経営転換時は、アレカヤシ、クルクマを栽培していたが、高単価で気候的に適しているジンジャー、ヘリコニアの栽培が定着した。



レッドジンジャーの栽培状況

②栽培技術の確立・向上

補助事業(特定地域経営改善事業)により平張ハウスを導入し、天井からのミスト散水を設置することで、かん水作業時間の節減、夏場の高温対策、干ばつ時のかん水及び根茎肥大期のかん水が可能となっている。



天井からのミスト散水装置

③品質の向上

平張ハウスや天井からのミスト散水により、花の大きさや開花時期のコントロールが可能となり、品質が上がり収益性が向上した。また、レッドジンジャーは、県の花と食のフェスティバルにおいて高い評価を得ている。(平成28年銅賞、平成29年銀賞)



レッドジンジャーの出荷状況

④流通・販売の工夫

主な出荷先は、県内の北部花卉園芸組合を通して、県外の花き市場、生花業者等に空輸で出荷している。島内出荷は、JAファーマーズマーケットや花屋(5~6軒)に出荷している。



ヘリコニアの出荷状況

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市：石垣市

受益面積：4,338ha

事業期間：宮良川地区(昭和50年~平成4年)

名蔵川地区(昭和57年~平成10年)

石垣島地区(平成26年~)

事業目的：畑地かんがい

主要工事：ダム5箇所、頭首工3箇所

揚水機場及び加圧機場8箇所

用水路(新設)50km(改修)55km

位置図 (沖縄県)



<局間問い合わせ先>

沖縄総合事務局

農村振興課

電話：098-866-1652

(令和4年調査時点)